

博物館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・設立年月日 平成5年4月1日
- ・開館年月日 平成5年11月1日
- ・丹羽文雄記念室オープン 平成18年12月9日
- ・リニューアルオープン 平成27年3月21日
- ・敷地面積 1,845.840 m²
- ・建設面積 1,590.397 m²
- ・延床面積 10,147.108 m²
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下2階、地上6階

・主な室名と面積

展示・教育部門		2,202.065 m ²
常設展示室	2 F	658.364 m ²
常設展示室	3 F	548.291 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	4 F	93.674 m ²
図書スペース	1 F	86.350 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
研修・実習室	1 F	78.370 m ²
収蔵部門		1,256.230 m ²
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫②③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門		420.165 m ²
作業室	2 F	50.422 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
第2会議室	4 F	37.952 m ²
第3会議室	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門		1,714.282 m ²
客室(ドーム)	5 F～6 F	565.017 m ²
コズミックラウンジ	5 F	59.081 m ²
コズミックギャラリー	5 F	194.763 m ²
ブリーフィングルーム	5 F	59.326 m ²



空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門		4,554.366 m ²
事務室	3 F	105.059 m ²
事務室	2 F	60.464 m ²
第1会議室	2 F	37.001 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品室など		3,531.901 m ²

・プラネタリウム仕様

ドーム径 18.5m 傾斜型(傾斜度 20度)

座席 144 席(遮音室 8 席)

光学式投映機 ケイロン 401

デジタル式投映システム バーチャリウムV

全天周映画 可能

3. そらんぼ四日市

博物館と併設の四日市公害と環境未来館は、「そらんぼ四日市」の総称のもと、市民に親しまれ、本市のイメージを発信する一体感のある事業展開を図っている。

常設展示は、原始・古代から近世までの各時代の特徴を象徴する建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場としている。

プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境について投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場としての特色を持ち、市内外から多くの観覧者が訪れている。

博物館・プラネタリウムと四日市公害と環境未来館は、過去から現在そして未来へという時間軸と、四日市から日本、世界・地球そして宇宙へという空間軸を自在に交差させ、立ち位置や見方、考え方を変えることで、未来のまちづくりを市民一人一人が考えることができる場となることを目指している。

令和5年11月1日(水)に開館30周年を迎えた。

4. 展示等事業

(1) 常設展

・時空街道

四日市のあゆみのうち、原始・古代から江戸時代までを博物館で展示し、明治以降は2階の四日市公害と環境未来館で展示するため、両館の展示が一体的な時代の流れにあることを理解できるよう、展示テーマを「四日市のまちの発展と人々のくらしの変化」とした。

時空街道では、各時代を特徴づける原寸大の建物を再現し、観覧者自身が時代の雰囲気や、社会の変化の流れを体感できるような構成としている。映像や照明による一日の時間や季節の移り変わりを感じられるほか、スマートフォンやタブレット端末を利用した展示解説や、解説シート、ボランティアとの対話の中から得られる説明など、資料の理解を促す方法も選べ、何度訪れても学べる工夫をおこなっている。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、二十数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現している。

開館日数 285日 観覧者数 50,427人

※令和5年6月24日(土)に開館以来の常設展観覧者が100万人を達成した。

(2) 特別展・企画展

① 開館30周年記念特別展 「池田あきこ原画展～ダヤンとアベコベアの月～」			
会 期	4月15日(土)～6月4日(日) 45日間		
観 覧 料	一般1,000円 高・大生600円		
観 覧 者 数	5,442人		
関 連 行 事	4月15日(土) 5月14日(日) 6月4日(日)	「池田あきこ トーク&サイン会」	池田あきこ (絵本作家)

② 開館30周年記念特別展 「立原位貫～想像力から創造力へ～」	
会 期	9月23日(土・祝)～11月5日(日) 38日間

観 覧 料	一般1,200円 高・大生600円		
観 覧 者 数	2,900人		
関 連 行 事	9月2日(土)	特別講座「立原位貫～想像力から創造力へ～」	吉田俊英(当館館長)
	9月24日(日)	記念講演会「立原位貫氏の想像力－浮世絵版画の復刻」	吉田洋子(山口県立萩美術館・浦上記念館学芸課長)
	10月21日(土)	ギャラリートーク	立原安位子子(アルテ・ピンクロ位貫代表)

③ 開館30周年記念特別企画展「昭和のくらし 昭和の一隅」			
会 期	令和6年1月2日(火)～3月3日(日) 54日間		
観 覧 料	一般500円 高・大生300円		
観 覧 者 数	8,164人		
関 連 行 事	1月13日(土)	「むかしの道具」	企画普及係、ボランティア
	2月17日(土)	「昭和のあそび」	企画普及係、ボランティア

④ 共催展「第65回北勢地区高等学校美術展」			
会 期	令和6年3月19日(火)～3月24日(日) 6日間		
観 覧 料	無 料		
観 覧 者 数	917人		
関 連 行 事	3月23日(土)	講演会	鈴木麻里子(三重県立美術館学芸員)

(3) 学習支援展示・特別陳列

学習支援展示 観覧者数 19,954人(5年度分のみ)

名称	会期	場所
① 四日市空襲と戦時下の暮らし	6月13日(火)～9月3日(日)	白里亭 3Fロビー 2F常設展一部
② 大昔の四日市	令和6年3月12日(火)～5月6日(月・祝)	白里亭

特別陳列 観覧者数 28,379人(5年度分のみ)

名称	会期	場所
① 牧野富太郎が見た四日市	3月18日(土)～5月7日(日)	白里亭 3Fロビー
② 館蔵品展Ⅰ 新収蔵品展	5月16日(火)～6月4日(日)	白里亭
③ 館蔵品展Ⅱ あの頃の富田	9月12日(火)～11月12日(日)	白里亭 3Fロビー
④ 館蔵品展Ⅲ お正月～辰年～	11月21日(火)～令和6年1月21日(日)	白里亭
⑤ 館蔵品展Ⅳ 陶器のいきもの	1月30日(火)～3月3日(日)	白里亭

(4) 開館30周年記念「展覧会ポスターでふりかえる四日市市立博物館30年のあゆみ」 観覧者数 10,726人
 会期：11月18日(土)～令和6年3月3日(日)
 前期：～令和6年1月14日(日)
 後期：1月20日(土)～
 場所：3Fロビー

5. 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室

① ワークショップ(全4回)

参加者数 94人 [場所：講座室ほか]

6月17日(土)	四日市空襲を語り継ごう	博物館ボランティア、篠昌志・川端蒼海・森山翔太(企画普及係学芸員)
7月1日(土)	バックヤードツアー	篠昌志・森山翔太(企画普及係学芸員)
8月5日(土)	紋切うちわ	篠昌志・高橋香織(企画普及係学芸員)
令和6年2月3日(土)	ひな飾り	川端蒼海・中原暁美(企画普及係学芸員)

② 親と子のプチわーくしょっぷ(全3回)

参加者数 110人 [場所：講座室]

7月22日(土)	わくわく水族館をつくろう!	川端蒼海・森拓也・森山翔太(企画普及係学芸員)
8月19日(土)	えのぐで遊ぼう!	川端蒼海・中原暁美(企画普及係学芸員)
11月23日(木・祝)	動くおもちゃにチャレンジ!	川端蒼海・森拓也・森山翔太(企画普及係学芸員)

(2) 一般向け講座

① 館長講座 アート漫談「世間は楽しいアートに満ちている」(全5回)

参加者数 92人 [場所：講座室]

11月11日(土)	〈アート眼〉養成講座①	吉田俊英(当館館長)
12月16日(土)	〈アート眼〉養成講座②	
令和6年1月27日(土)	ひっくり返したオモチャ箱①	
2月24日(土)	ひっくり返したオモチャ箱②	
3月20日(水・祝)	まとめ・発想の転換	

② 大人の社会科(全4回)

参加者数 120人 [場所：講座室ほか]

4月22日(土)	【講演会①】「牧野富太郎が歩いた四日市」	森拓也(企画普及係学芸員)
5月20日(土)	【ワークショップ】バックヤードツアー	赤松一秀・中原暁美(企画普及係学芸員)
10月21日(土)	【ワークショップ】和綴じ本をつくろう	篠昌志・川端蒼海・森拓也・中原暁美(企画普及係学芸員)
令和6年2月10日(土)	【講演会②】「桑名の焼蛤」	廣瀬毅(当館副館長・学芸員)

③ みんな de 古文書(全8回)

参加者数 271人 [場所：講座室]

4月8日(土)	村と石高	廣瀬毅(当館副館長・学芸員)
5月13日(土)	江戸のレシピ1	
6月3日(土)	滑稽本1	
7月15日(土)	滑稽本2	
8月12日(土)	江戸のレシピ2	
10月14日(土)	江戸の名物	
令和6年1月6日(土)	江戸のウィット	
3月2日(土)	江戸のレシピ3	

④ミュージアムセミナー(全3回)

参加者数 102 人 [場所: 講座室]

4月29日 (土・祝)	ルノワールと 印象派	荒屋鋪透 (中部大学人文学部教授、中部大学民族資料博物館館長)
5月27日 (土)	シャガールと エコール・ド・パリ	深谷克典 (名古屋市美術館参与)
6月24日 (土)	ダリとシュルレアリスムの謎	村松和明 (前岡崎市美術館館長、美術史家)

⑤丹羽文雄記念室行事

参加者数 50 人 [場所: 講座室]

4月23日 (日)	原作映画上映会「人間模様」	企画普及係
11月25日 (土)	講演会「丹羽文雄の宗教文学」	秦昌弘 (学校法人皇學館理事)

⑥開館 30 周年記念講演会

参加者数 127 人 [場所: じばさん 6F ホール]

10月29日 (日)	「私とミュージアム」	澤田瞳子 (作家)
---------------	------------	--------------

(3)時空街道ツアーex(全8回)

4がつく曜日・祝日に体感型常設展「時空街道」(四日市公害と環境未来館含む)及びプラネタリウム番組を案内する「そらんぼ四日市」のコンセプトツアーを実施した。ツアーを通して、私たちの暮らしと環境の関係を四日市から日本、世界、地球、宇宙に広げて考えてもらうことを目的としている。

参加者数 64 人 [場所: 常設展示・プラネタリウム]

5月4日(木・祝)	博物館ボランティア、企画普及係、天文係
5月14日(日)	
6月4日(日)	
9月24日(日)	
12月24日(日)	
令和6年 1月14日(日)	
2月4日(日)	
3月24日(日)	

(4)子育て支援事業(全12回 9:30~12:00)

毎月第3日曜日の三重県「家庭の日」にあわせ、幼児や赤ちゃんと展覧会をゆっくり見られるように授乳室などの環境を整えた日時を設定した。

ベビーカーDAY	4月16日(日)・5月21日(日)・ 6月18日(日)・7月16日(日)・ 8月20日(日)・9月17日(日)・ 10月15日(日)・11月19日 (日)・12月17日(日)・ 令和6年1月21日(日)・ 2月18日(日)・3月17日(日)
----------	--

参加者数 594 人 [場所: 特別展示室・常設展示]

(5)出前講座等(計25回)

参加者数 886 人 [場所: 市内外各所]

演題	回数	人数	講師	
心を包む風呂敷	4	77	企画普及係	
東海道と四日市宿	7	285	廣瀬毅 (当館副館長・学芸員)	
伊勢参宮と四日市	2	51		
奇跡が見つないだ 光太夫の帰国	5	178		
東海道・采女城	1	25		
四日市学 四日市の歴史	1	44		
玉井兄弟	1	32		
四日市の歴史	1	56		
四日市港の歴史	1	45		
立原位貫	1	78		吉田俊英 (当館館長)
猫のダヤンの不思議な魅力	1	15		齋田明里 (管理係学芸員)

(6)講座番組放送

博物館への来館が困難な方へ当館の活動を広く知っていただくことを目的に、教育普及の一環として一般向け講座を収録し、CTYにて放送した。

10月8日(日)	特別講座「立原位貫～想像力から創造力へ～」(90分)	吉田俊英 (当館館長)
10月15日(日)		
10月22日(日)		
10月29日(日)		

(7)3D デジタルコンテンツ映像の製作

開館 30 周年記念特別展「立原位貫～想像力から創造力へ～」の 3D デジタルコンテンツ映像を製作、公開

(8) 実習・研修の受入

① 博物館実習

8 月 29 日(火)～9 月 1 日(金)及び 9 月 5 日(火)～9 月 8 日(金)の 8 日間
4 大学 5 人受入

② 学校教員研修

月	内容	人数	担当
7 月～8 月	社会体験研修	26 人	企画普及係
7 月 27 日	学習支援展示(昭和展・四日市空襲展)の活用 博学連携・学習支援展示の 3DVR を授業に生かす	11 人	廣瀬毅(当館副館長・学芸員)、川端蒼海・篠昌志(企画普及係学芸員)
計 14 日		37 人	

③ 中学生の職場体験

月	校数	人数	担当
5 月	3 校	6 人	企画普及係、天文係
6 月	5 校	10 人	
10 月	1 校	2 人	
11 月	3 校	6 人	
12 月	1 校	2 人	
延 31 日	13 校	26 人	

(9) ボランティアとの協働

① 博物館ボランティア

登録者数 27 人 延べ活動者数 1,196 人

② 丹羽文雄記念室語り部

登録者数 6 人 延べ活動者数 0 人

③ 古文書ボランティア

登録者数 8 人 延べ活動者数 128 人

開館 30 周年事業「時空街道謎解きゲーム」

常設展「時空街道」を舞台にボランティア発案の謎解きゲームを実施。

8 月 11 日(金・祝)～8 月 14 日(月)、8 月 16 日(水)～8 月 17 日(木)の 6 日間 413 人

※8 月 15 日(火)も開催予定であったが、台風の影響により臨時休館したため実施せず。

6. 資料収集保存事業

(単位: 件) (令和 6 年 3 月末現在)

1	区分	実物・標本	模型・複写
人文学資料	(1) 考古	1,524	25
	(2) 美術工芸	5,187	25
	(3) 民俗	6,422	17
	(4) 歴史	11,387	57
	(5) 文学	4,928	8
	計	29,448	132
2	区分	実物・標本	模型・複写
自然科学資料	(1) 動物資料	0	0
	(2) 植物資料	4,258	0
	(3) 地学資料	131	4
	(4) 理工学資料	0	0
	(5) 天文資料	7	0
	(6) その他の資料	2	0
	計	4,398	4

7. 調査研究事業

(1) 研究成果発表(当館ホームページにて公開)

楠交流会館より移管された 120 年前の植物標本の修復と保存について	森拓也・森山翔太(企画普及係学芸員)
楠町本郷におけるホンゴウソウの発見から現在に至る経緯及び移植の可能性について	森拓也(企画普及係学芸員)

(2) メディア出演

放送日	放送局	番組名	出演職員
10 月 1 日(日)～ 10 月 15 日(日)	CTY CNS	まほろば立原位貫 浮世絵版画に魅せられて	吉田俊英(当館館長)

8. プラネタリウム投映事業

(1) 季節番組

季節に合わせた 2 種類の番組(一般、ファミリー)を投映した。一般番組(春・秋)については、当館のプラネタリウムコンセプトに合わせた四日市オリジナルの番組を制作委託した。特に秋番組は開館 30 周年を記念して、近代プラネタリウム 100 周年と当館のプラネタリウム 30 周年を紹介する番組を制作した。

特別番組では、子育て支援の一環として幼児とその保護者を対象にした幼児番組「はじめてのプラネタリウム」を投映した。どなたにもプラネタリウムを楽しんでいただけるように、3 種類の番組(一般、ファミリー、夜間特別)の字幕付き投映を期間中に 1 回ずつ行った。また、ドーム内にある「遮音室」、「ヒアリンググループ」、「ハワイエの階段昇降機」は有効に活用することができた。

＜春番組＞①ファミリー番組、②一般番組

①「クレヨンしんちゃん 宇宙からの来訪者 カスカベ大パニック」	
②「いのちを探して～コズミックルーザーで行く金星・木星～」	
放映期間	2月11日(土・祝)～6月4日(日)
観覧者数	①3,472人 (4/1～6/4) ②1,830人 (4/1～6/4)

＜夏番組＞①ファミリー番組、②一般番組

①「発見!南極に恐竜がいた!」	
②「水の惑星一星の旅シリーズ」	
放映期間	6月13日(火)～9月3日(日)
観覧者数	①11,481人 ②6,910人

＜秋番組＞①ファミリー番組、②一般番組

①「忍たま乱太郎の宇宙の大冒険 with コズミックフロント☆NEXT 土星めぐりでシャッターチャンス」	
②「開館30周年記念 プラネタリウムヒストリー 地上に降りた一億四千万の星」	
放映期間	9月12日(火)～12月3日(日)
観覧者数	①3,262人 ②2,142人

＜冬番組＞①ファミリー番組、②一般番組

①「宇宙なんちゃら こてつくんプラネタリウム」	
②「ブラックホールを見た日～人類100年の挑戦～」	
放映期間	12月12日(火)～令和6年3月3日(日)
観覧者数	①4,629人 ②2,730人

＜春番組＞①ファミリー番組、②一般番組

①「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる! チコとキョエの宇宙大冒険! 無知との遭遇」	
②「いのちの源～コズミックルーザーで行く驚異の太陽～」	
放映期間	令和6年3月12日(火)～6月2日(日)
観覧者数	①1,345人 ②693人 なお、観覧者数は、3月31日までの合計

※季節番組に各1回字幕付き放映を実施

(2) 特別番組

①夜間特別番組 (毎週土曜日 18:20～19:15)

土曜日の夜間特別開館に合わせて放映した。また、各番組1回字幕付き放映を実施した。

ヒーリングアース	2月11日(土・祝)～6月3日(土) 観覧者数 398人
銀河鉄道の夜	6月17日(土)～9月2日(土) 観覧者数 999人
宇宙のオアシスを探して～奇跡の星への旅～ Music by 葉加瀬太郎	9月16日(土)～12月2日(土) 観覧者数 359人
ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～	12月23日(土)～令和6年3月2日(土) 観覧者数 379人
天球のものがたり	3月16日(土)～6月1日(土) 観覧者数 19人

① 幼児番組

毎月第3日曜日の三重県「家庭の日」に開催しているベビーカーDAYにあわせ、10:05と11:20の回2回、GW、祝日は10:05の回の1回放映した。(放映回のファミリー番組は中止)。

観覧者数 4,359人

前半 導入番組 星座の森の動物たち	4月16日(日)、4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝)、5月21日(日)、6月18日(日)、7月16日(日)、7月17日(月・祝)、8月11日(金・祝)、8月20日(日)、9月17日(日)、9月18日(月・祝)、9月23日(土・祝)、10月9日(月・祝)、10月15日(日)、11月3日(金・祝)、11月19日(日)、11月23日(木・祝)、12月17日(日)、1月8日(月・祝)、1月21日(日)、2月11日(日・祝)、2月18日(日)、2月23日(金・祝)、3月17日(日)、3月20日(水・祝)
後半 配給番組 しまじろうとながれぼしのねがいごと	

③環境番組

毎月4のつく日曜・祝日に開催している「時空街道ツアーex」参加者向けの当館オリジナル番組を放映した。(放映回の一般番組は中止)

観覧者数 297人

時空街道ツアーex 宇宙から見た地球	5月4日(木・祝)、5月14日(日)、6月4日(日)、9月24日(日)、12月24日(日)、1月14日(日)、2月4日(日)、3月24日(日)
-----------------------	---

(3) 学習放映(団体利用放映)

- ・ 保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校、高校等の団体対象(事前申込みが必要)

- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による体験型の学習用プラネタリウム
- ・ 四日市公害と環境未来館と連携して、小学校5年生を対象に環境学習プログラムを放映
- ・ 企画展(学習支援展示)に関する学習プログラムを放映

天体学習プログラム	146回	8,977人
環境学習プログラム	13回	928人
学習支援展示学習プログラム	3回	153人
合計	162回	10,058人

<季節番組・特別番組(夜間特別番組)・学習放映の放映時刻>

平日	学習 9:50	学習 11:00	学習 13:15	一般 14:20	ファミリー 15:35	
土日祝 学校長期 休暇期間	ファミリー 10:05	ファミリー 11:20	一般 13:05	一般 14:20	ファミリー 15:35	土曜 夜間 18:20

※季節番組及び特別番組(夜間特別番組)は入場も含めて約55分間。学習放映の天体学習は約45分間、環境学習は約30分間、学習支援展示学習は約30分間と約45分の2種。

(4) プラネタリウムイベント

①宇宙塾(18:20~20:00)

10月14日(土)	開館30周年記念「第二の地球はとてつもない数存在する-天文学が明らかにした系外惑星の世界-」	43人	渡部 潤一 (国立天文台特任(上席)教授) 難易度:初級(中学校程度)
11月4日(土)	開館30周年記念「宇宙の謎と魅力を語る」	51人	福井 康雄 (名古屋大学大学院名誉教授) 難易度:初級(中学校程度)
令和6年3月23日(土)	「太陽でスーパーフレアは起こるか?~遠くの星を調べて近くの太陽を知る~」	37人	前原 裕之 (国立天文台ハワイ観測所岡山分室助教) 難易度:初級(中学校程度)

②特別企画

開館30周年記念 「プラネタリウム・ステージ ~宇宙ってヤバくない?!~」	5月5日(金・祝) 11:20~12:15	伊藤達郎・長島詩織 (天文係職員)	観覧者数 90人

開館30周年記念 プラネタリウムライブコンサート 「中秋の名月コンサート」	9月30日(土) 18:20~20:00	演奏者 ピアノ尺八 INFINITY	観覧者数 134人
プラネタリウムコンサート 「クリスマスCDコンサート」	12月16日(土) 18:20~20:00	伊藤達郎・長島詩織 (天文係職員)	観覧者数 134人
開館30周年記念 「天文学芸員と星空散歩」	4月29日(土・祝)	北原里穂(天文係学芸員)	観覧者 36人
	7月29日(土)		
	3月30日(土) 18:20~20:00		
			28人
			30人

(5) その他放映

- ①研修・視察等に関する放映 1回 21人
8月1日(火) ICETT 21人

9. 天文教育普及事業

移動天文車「きらら号」を使った観望会やコズミックスクールでの科学工作など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

(1) 移動天文車「きらら号」事業

大型天体望遠鏡を載せた移動天文車「きらら号」による星空観望会を天文ボランティアの方々と協働で実施した。

①派遣事業

要請により市内各地へ「きらら号」を出動し、観望会を行った。

稼動予定回数 30回 (実施:18回、天文教室:3回、中止:9回)	参加者数 1,705人
	ボランティア数 延べ120人

②主催事業

[場所:市民公園(博物館前)]

稼動予定回数 14回 (実施:10回、中止:4回)	参加者数 989人
	ボランティア数 延べ97人
内訳	
4月22日(土) 19:00~20:30	金星・火星を見よう 39人

5月27日(土) 19:00~20:30	月・金星・火星を見よう	82人
6月24日(土) 19:00~20:30	月・金星・火星を見よう	52人
7月22日(土) 20:00~21:30	色のついた星を見よう	111人
8月26日(土) 19:30~21:00	土星を見よう	120人
9月23日(土) 18:00~19:30	月・土星を見よう	123人
9月29日(土) 19:00~20:30	中秋の名月を見よう	134人
10月28日(土) 18:00~19:30	月・木星・土星を見よう	120人
11月25日(土) 17:30~19:00	月・木星・土星を見よう	98人
12月23日(土) 18:00~19:30	月・木星・土星を見よう	110人
令和6年 1月27日(土) 18:00~19:30	木星を見よう	市民公園工事のため中止
2月24日(土) 18:30~20:00	月・木星を見よう	市民公園工事のため中止
3月23日(土) 11:00~13:00	太陽を見よう	市民公園工事のため中止
3月24日(日) 11:00~13:00	太陽を見よう	市民公園工事のため中止

(5) 学校連携

市内中学生を対象に、プラネタリウム夏番組を学習として活用できる学習参加券(無料観覧券)の配布を希望校のみ、かつ夏休み期間の平日のみの利用に限って実施した。

※希望校：全校(22校)

配付枚数:2,613枚 利用枚数:1,459枚 利用率:56%

(6) JAXA 連携事業 四日市子ども科学セミナー

参加者数 42人

7月23日(日) 9:30~12:00	コズミックカレッジ 「太陽系の広がり」 in 四日市	幅 良統(愛知 教育大学教育 学部准教授)
------------------------	----------------------------------	-----------------------------

※小学3~6年対象

(7) ガリレオ教室(各日2回実施)

天文ボランティアと協働し、毎月第2日曜日に開催した。

参加者数 301人

※6月・9月・12月・3月は開催日が整備休館中のため中止

(8) 天文ボランティア支援事業

天文ボランティアが主体的に実施する事業を支援する。

①天文ボランティア学習会(全11回実施)

②天文ボランティア主催観望会(全2回実施)

③天文ボランティア工房(全12回実施 参加者 504人)

(2) 公開観望会(移動天文車「きらら号」出勤なし)

【場所：伊坂ダム】

8月13日(日) 19:30~21:30	ペルセウス座流星群 観望会	天候不良のため中止
12月14日(木) 19:00~21:00	ふたご座流星群 観望会	81人

(3) コズミックスクール

11月3日(金・祝) 10:00~12:45	プラネタリウムの製作 とバックヤードツアー	36人
---------------------------	--------------------------	-----

(4) 夏季教職員研修講座(天文教育研修)

参加数 50人

※保・幼・こ・小・中学校教員対象

8月7日(月) 9:00~12:30	月の尽きない話	伊藤 信成 (三重大学教育学 部教授)
-----------------------	---------	---------------------------

10. 開館時間等

開館時間 午前9時30分から午後5時まで

(ただし展覧会への入場は午後4時30分まで)

※毎週土曜日は夜間特別開館として1階・5階のみ、午後7時30分まで開館。

休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)及び年末年始(12/25～1/1)ただし、5月1日(月)、8月14日(月)は開館

整備休館 6月 5日(月)～12日(月)

9月 4日(月)～11日(月)

12月 4日(月)～11日(月)

令和6年 3月 4日(月)～11日(月)

※開館30周年のタイミングで外壁改修工事が実施されたため、博物館で過去に開催した展覧会のポスターを工事用養生シートに拡大印刷して11月30日～令和6年2月20日まで掲示した。

観覧料金

区分	博物館 特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度 定める額	550円	その都度 定める額
高・大生		390円	
小・中生	無料	210円	

※有料20名以上の団体は2割引

※博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分 ～12時	13～17時	9時30分 ～17時
特別展示室 595㎡	—	—	33,000円
講座室 142㎡	8,800円	13,200円	22,000円

11. 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月計
4月	26日	3,645	14日	1,356	26日	92回	2,970	7,971
5月	27日	4,988	27日	3,225	27日	112回	5,002	13,215
6月	20日	3,312	4日	861	20日	97回	4,964	9,137
7月	26日	5,806	0日	0	26日	124回	7,881	13,687
※8月	27日	8,242	0日	0	27日	138回	10,897	19,139
9月	20日	3,574	7日	354	20日	75回	3,695	7,623
10月	26日	4,720	26日	1,728	26日	108回	3,762	10,210
11月	26日	4,389	5日	818	26日	113回	3,436	8,643
12月	15日	1,692	0日	0	15日	57回	2,013	3,705
6年1月	26日	3,356	26日	3,476	26日	104回	3,905	10,737
2月	25日	3,634	25日	4,039	25日	96回	3,976	11,649
3月	21日	3,069	3日	649	21日	86回	3,465	7,183
合計	285日	50,427	137日	16,506	285日	1,202回	55,966	122,899

※8月15日は台風により臨時休館

[参考] 過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
4	169日	26,924人	71日	13,514人	169日	32,590人	73,028人
3	260日	29,357人	144日	12,212人	260日	31,344人	72,913人
2	255日	18,528人	144日	13,044人	231日	19,457人	51,029人

※令和2年度：新型コロナウイルス対策による臨時休館4月15日～5月18日、プラネタリウム放映休止4月1日～5月31日

※令和3年度：新型コロナウイルス対策による臨時休館8月27日～9月30日

※令和4年度：空調設備等更新工事による整備休館9月1日～令和5年2月10日